

## 資料編

資料 1. 現地調査報告

資料 2. 開催地別講座チラシ

資料 3. 最終アンケート参加者コメント

## 資料1. 現地調査報告

(1) 浦河町 調査日 (8月17日) 調査者 (二通信子)

訪問先	内容
日高振興局地域創生部地域政策課	管内の在住外国人の状況、講座についての説明、広報の依頼
浦河町教育委員会	講座のチラシの配置の依頼、講座会場についての相談
浦河町役場企画課	浦河町 HP での講座の紹介の依頼
浦河町基盤集落センター堺町会館	会場の下見、予約
大黒座	大黒座でのチラシ配置と、外国人ゲストの紹介の依頼
北海道新聞浦河支局	道新地方面での講座の紹介記事の依頼
浦河町議員*	町内の外国人の状況、講座についての説明、講座の広報の依頼、など *札幌での面談(8月27日)

(2) 釧路市 調査日 (8月18日) 調査者 (二通信子)

訪問先	内容
釧路総合振興局地域創成部地域政策課	講座についての説明
釧路国際交流の会	釧路国際交流の会の活動内容、講座についての説明、講座の広報の依頼
釧路市役所総合政策部市民協働推進課	講座についての説明、講座の広報の依頼
釧路市交流プラザさいわい	会場の下見、予約
釧路自主夜間中学くるかい	講座についての説明
北海道新聞釧路支社	講座の予告記事の依頼

(3) 別海町、中標津町、根室市 調査日 (8月19、20日) 調査者 (二通信子)

訪問先	内容
根室振興局地域創成部地域政策課	根室管内における在住外国人の状況、講座についての説明、広報の依頼
根室商工会議所	根室市内での外国人や日本語学習ボランティアの状況、講座についての説明
根室市教育委員会	講座の広報の依頼
別海町役場総務部総合政策課	別海町の在住外国人の状況、講座についての説明、
中標津町総務部総務課	講座の広報の依頼
中標津町商工会	講座の広報の依頼
別海町交流館ぷらと	会場の下見、予約

(4) 増毛町、留萌市 調査日（8月25、26日） 調査者（二通信子・大井裕子）

訪問先	内容
増毛町役場	増毛町における在住外国人の状況、講座についての説明、講座の広報の依頼
増毛町教育員会	講座についての説明・広報の依頼
増毛商工会	増毛町における在住外国人の状況、講座についての説明、講座の広報の依頼
留萌振興局地域創生部地域政策課	留萌管内における在住外国人の状況、講座についての説明、広報の依頼
留萌市役所 地域振興部政策振興課	留萌市内における在住外国人の状況、講座についての説明、広報の依頼
留萌商工会議所	留萌管内における在住外国人の状況、講座についての説明、広報および外国人ゲストの紹介の依頼、会場の下見、予約
留萌新聞社	留萌管内における在住外国人の状況、講座についての説明、広報の依頼

(5) 稚内市 調査日（8月31日） 調査者（二通信子・阿部仁美・大井裕子）

訪問先	内容
宗谷総合振興局	宗谷管内における在住外国人の状況、講座についての説明、広報の依頼
稚内市建設産業部水産商工課	稚内市における在住外国人の状況、講座についての説明、広報の依頼、会場の相談
稚内機船漁業協同組合	稚内市における在住外国人の状況、講座についての説明、広報および外国人ゲストの紹介の依頼
カトリック稚内教会	講座についての説明
稚内生涯学習総合支援センター	会場の下見、予約

(6) 雄武町、紋別市 調査日(9月1日) 調査者(二通信子・阿部仁美・大井裕子)

訪問先	内容
オホーツク国際人材交流協同組合	雄武町における在住外国人の状況、講座についての説明、広報の依頼
雄武町役場	雄武町における在住外国人の状況、講座についての説明、広報の依頼(町民向けの広報への折り込み依頼)、会場と備品の相談
特定非営利活動法人雄武町観光協会	講座についての説明、広報の依頼、会場の相談、外国人協力者の依頼
道の駅おうむ	会場の下見、予約
紋別市役所国際交流推進室	紋別市における在住外国人の状況、講座についての説明、広報の依頼

(7) 網走市 調査日(9月2日) 調査者(二通信子・阿部仁美・大井裕子)

訪問先	内容
網走市役所	網走市における在住外国人の状況、講座についての説明、広報の依頼、監理団体の紹介依頼
網走勤労者総合福祉センター(ソレイユ網走)	会場下見、予約
網走国際交流協同組合	網走市における在住外国人の状況、講座についての説明、広報の依頼、外国人協力者の依頼
オホーツク総合振興局	オホーツク管内における在住外国人の状況、講座についての説明、広報の依頼





北海道

# 日本語学習支援者養成講座 in 浦河

道内には今、4万人以上の外国人が暮らしており、多くの方が仕事や生活のために日本語を必要としています。北海道では日本語学習の支援者を養成するために、下記の講座を行います。日本語教育の基礎的な知識や、日本語学習のサポートのしかたについて、初心者にもわかりやすくお話しします。みなさまのご参加をお待ちしています。



## 日時

2020年9月19日(土)、20日(日)、26日(土)

午前9時半～午後4時半(全3回) \*受講者には修了証を発行します

## 会場

基盤集落センター堺町会館 集会室

(浦河町堺町東1丁目19-2) TEL.0146-22-4711 ※駐車場あり

## 定員

30名 参加無料

## 内容

第1回	地域で生活する外国人への日本語学習支援とは。 日本語はどんな言葉か。外国人はどのように日本語を学んでいるか。
第2回	外国語を使わない日本語の教え方。役に立つ教科書や教材。 外国人とのコミュニケーションのための「やさしい日本語」とは。
第3回	どのように日本語学習をサポートするか。日本語教室の役割。 日本語を教える体験もしてみよう!

## 講師

- (一社) 北海道日本語センター代表理事、元東京大学日本語教育センター教授 二通 信子
- (一社) 北海道日本語センター理事、札幌大学非常勤講師 大井 裕子
- (一社) 北海道日本語センター理事、北海道大学非常勤講師 阿部 仁美
- 北海道大学、室蘭工業大学非常勤講師 山本さやか

## 参加申込

裏面の申込方法をご覧ください

## 主催

北海道

## 企画・運営

一般社団法人北海道日本語センター (道からの委託により企画、実施)

<https://www.facebook.com/hokkaidonihongocenter/>

## 参加申し込み

送付／問い合わせ先

(一社) 北海道日本語センター (担当: 阿部)

メール: nihongoctr@gmail.com

ファックス: 011-664-0773

電話: 011-682-8934 (二通)

以下の項目をお書きの上、メールまたはファックスでお申し込みください。

① 名前 <small>ふりがな</small>	
② 住所	
③ 電話番号	
⑤ 所属 (任意記入)	

申込受付期間

9月 5日～ 9月 16日



北海道

# 日本語学習支援者養成講座 in 釧路

道内には今、4万人以上の外国人が暮らしており、多くの人が仕事や生活のために日本語を必要としています。北海道では日本語学習の支援者を養成するために、下記の講座を行います。日本語教育の基礎的な知識や、日本語学習のサポートのしかたについて、初心者にもわかりやすくお話しします。みなさまのご参加をお待ちしています。



**日時** 2020年9月26日(土)、10月3日(土)、10日(土)

午前9時30分～午後4時30分(全3回)

**会場** 釧路市交流プラザさいわい (釧路市幸町9-1) TEL. 0154-64-9471

1階 多目的ホール(9/26, 10/3)、3階 大ホール(10/10) ※駐車場あり

**定員** 40名(予定) 参加無料

<b>内容</b>	第1回	地域で生活する外国人への日本語学習支援とは。 日本語はどんな言葉か。外国人はどのように日本語を学んでいるか。
	第2回	外国語を使わない日本語の教え方。役に立つ教科書や教材。 外国人とのコミュニケーションのための「やさしい日本語」とは。
	第3回	どのように日本語学習をサポートするか。日本語教室の役割。 日本語を教える体験もしてみよう！

## 講師

(一社) 北海道日本語センター代表理事、元東京大学日本語教育センター教授 二通 信子

(一社) 北海道日本語センター理事、札幌大学非常勤講師 大井 裕子

北海道大学・北星学園大学・札幌大学非常勤講師 藤原 安佐

**参加申込** 裏面の申込方法をご覧ください。

**主催** 北海道

**企画・運営** 一般社団法人北海道日本語センター (北海道の委託により、企画、実施)

<https://www.facebook.com/hokkaidonihongocenter/>

## 参加申し込み



<申し込み先>

(一社) 北海道日本語センター (担当: 阿部)

メール QR コード

メール : [nihongoctr@gmail.com](mailto:nihongoctr@gmail.com)

ファックス : 011-664-0773

以下の項目をお書きの上、メールまたはファックスでお申し込みください。

ふりがな ① 名前	
② 住所	
③ 電話番号	
④ 所属 (任意記入)	

※3回全て出席できない場合でも、ご参加いただけますが、3回全てご参加の方には、修了証をお渡しします。

申込受付期間

9月12日～9月23日

<参加者の皆様へ>

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。
- ・各自昼食をご用意ください。なお、当日は「釧路市交流プラザさいわい」1階の食堂が営業しています。
- ・ご不明の点がありましたら、下の電話番号までお願いします。

011-682-8934 (担当: 二通)



北海道

# 日本語学習支援者養成講座 in 別海

道内には今、4万人以上の外国人が暮らしており、多くの人が仕事や生活のために日本語を必要としています。北海道では日本語学習の支援者を養成するために、下記の講座を行います。日本語教育の基礎的な知識や、日本語学習のサポートのしかたについて、初心者にもわかりやすくお話しします。みなさまのご参加をお待ちしています。



## 日時

2020年9月27日(日)、10月4日(日)、11日(日)  
午前9時30分～午後4時00分(全3回)

## 会場

別海町交流館ぷらと 2階大会議室 ※駐車場があります。  
(別海町別海旭町 67番地 | TEL 0153-75-3663)

## 定員

25名 参加無料

## 内容

第1回	地域で生活する外国人への日本語学習支援とは。 日本語はどんな言葉か。外国人はどのように日本語を学んでいるか。
第2回	外国語を使わない日本語の教え方。役に立つ教科書や教材。 外国人とのコミュニケーションのための「やさしい日本語」とは。
第3回	どのように日本語学習をサポートするか。日本語教室の役割。 日本語を教える体験もしてみよう！

## 講師

(一社) 北海道日本語センター代表理事、元東京大学日本語教育センター教授	二通 信子
(一社) 北海道日本語センター理事、札幌大学非常勤講師	大井 裕子
北海道大学・北星学園大学・札幌大学非常勤講師	藤原 安佐

## 参加申込

裏面の申込方法をご覧ください。



## 主催

北海道

## 企画・運営

一般社団法人北海道日本語センター (北海道の委託により、企画、実施)  
<https://www.facebook.com/hokkaidonihongocenter/>

## 参加申し込み



<申し込み先>

(一社) 北海道日本語センター (担当: 阿部)

メール : [nihongoctr@gmail.com](mailto:nihongoctr@gmail.com)

ファックス: 011-664-0773

以下の項目をお書きの上、メールまたはファックスでお申し込みください。

① 名前 <small>ふりがな</small>	
② 住所	
③ 電話番号	
⑤ 所属 (任意記入)	

※3回全て出席できない場合でも、ご参加いただけますが、3回全てご参加の方には、修了証をお渡しします。

申込受付期間 9月 12日 ~ 9月 23日

<参加者の皆様へ>

- ・新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用をお願いします。
- ・各自、昼食をご用意ください。
- ・ご不明の点がありましたら、以下の電話番号をお願いします。

電話: 011-682-8943 (担当: 二通)



北海道

# 日本語学習支援者養成講 in 網走

道内には今、4万人以上の外国人が暮らしており、多くの人が仕事や生活のために日本語を必要としています。北海道では日本語学習の支援者を養成するために、下記の講座を行います。日本語教育の基礎的な知識や、日本語学習のサポートのしかたについて、初心者にもわかりやすくお話しします。みなさまのご参加をお待ちしています。



## 日時

2020年10月17日(土)、10月24日(土)、10月31日(土)

午前9時30分～午後4時30分(全3回)

## 会場

網走勤労者総合福祉センター(ソレイユ網走) 研修室A B

(網走市桂町2丁目1番3号) TEL. 0152-43-0840 ※駐車場に限りがあります。

## 定員

30名 参加無料

## 内容

第1回	地域で生活する外国人への日本語学習支援とは。 日本語はどんな言葉か。外国人はどのように日本語を学んでいるか。
第2回	外国語を使わない日本語の教え方。役に立つ教科書や教材。 外国人とのコミュニケーションのための「やさしい日本語」とは。
第3回	どのように日本語学習をサポートするか。日本語教室の役割。 日本語を教える体験もしてみよう!

## 講師

(一社) 北海道日本語センター代表理事、元東京大学日本語教育センター教授 二通 信子

(一社) 北海道日本語センター理事、北海道大学非常勤講師 阿部 仁美

北海道大学、北海道教育大学非常勤講師

小森 千佳江

## 参加申込

裏面の申込方法をご覧ください。

## 主催

北海道

## 企画・運営

一般社団法人北海道日本語センター(北海道の委託により、企画、実施)

<https://www.facebook.com/hokkaidonihongocenter/>

## 参加申し込み



<申し込み先>

(一社) 北海道日本語センター (担当: 阿部)

メールQRコード

メール : nihongoctr@gmail.com

ファックス: 011-664-0773

以下の項目をお書きの上、メールまたはファックスでお申し込みください。

① 名前 <small>ふりがな</small>	
② 住所	
③ 電話番号	
④ 所属 (任意記入)	

※3回全て出席できない場合でもご参加いただけますが、3回全てご参加の方には、修了証をお渡しします。

申込受付期間 10月1日～10月14日

<参加者の皆様へ>

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。
- ・各自昼食をご用意ください。
- ・ご不明の点がありましたら、下の電話番号までお願いします。

011-682-8934 (担当: 二通)



北海道

# 日本語学習支援者養成講座 in 雄武

道内には今、4万人以上の外国人が暮らしており、多くの人が仕事や生活のために日本語を必要としています。北海道では日本語学習の支援者を養成するために、下記の講座を行います。日本語教育の基礎的な知識や、日本語学習のサポートのしかたについて、初心者にもわかりやすくお話しします。みなさまのご参加をお待ちしています。



## 日時

2020年10月18日(日)、10月25日(日)、11月1日(日)  
午前9時30分～午後4時30分(全3回)

## 会場

道の駅おうむ1階 雄武地域交流センター  
(雄武町字雄武1885-14) TEL. 0158-84-2403

## 定員

30名 参加無料

## 内容

第1回	地域で生活する外国人への日本語学習支援とは。 日本語はどんな言葉か。外国人はどのように日本語を学んでいるか。
第2回	外国語を使わない日本語の教え方。役に立つ教科書や教材。 外国人とのコミュニケーションのための「やさしい日本語」とは。
第3回	どのように日本語学習をサポートするか。日本語教室の役割。 日本語を教える体験もしてみよう!

## 講師

(一社)北海道日本語センター代表理事、元東京大学日本語教育センター教授 二通 信子  
 (一社)北海道日本語センター理事、北海道大学非常勤講師 阿部 仁美  
 北海道大学、北海道教育大学非常勤講師 小森 千佳江

## 参加申込

裏面の申込方法をご覧ください。

## 主催

北海道



## 企画・運営

一般社団法人北海道日本語センター(北海道の委託により、企画、実施)

<https://www.facebook.com/hokkaidonihongocenter/>

## 参加申し込み



<申し込み先>

(一社) 北海道日本語センター (担当: 阿部)

メールQRコード

メール : nihongoctr@gmail.com

ファックス : 011-664-0773

以下の項目をお書きの上、メールまたはファックスでお申し込みください。

① 名前 <small>ふりがな</small>	
② 住所	
③ 電話番号	
④ 所属 (任意記入)	

※3回全て出席できない場合でもご参加いただけますが、3回全てご参加の方には、修了証をお渡しします。

申込受付期間 10月1日～10月14日

<参加者の皆様へ>

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。
- ・各自、昼食をご用意ください。
- ・ご不明の点がありましたら、下の電話番号までお願いします。

011-682-8934 (担当: 二通)



北海道

# 日本語学習支援者養成講座 in 稚内

道内には今、4万人以上の外国人が暮らしており、多くの人が仕事や生活のために日本語を必要としています。北海道では日本語学習の支援者を養成するために、下記の講座を行います。日本語教育の基礎的な知識や、日本語学習のサポートのしかたについて、初心者にもわかりやすくお話しします。みなさまのご参加をお待ちしています。



日時

2020年10月18日(日)、10月25日(日)、11月1日(日)  
午前9時30分～午後4時30分(全3回)

会場

稚内生涯学習総合支援センター(風～るわっかない)

第一研修室

(稚内市富岡1丁目1-2) TEL. 0162-33-2301

※駐車場があります。(裏に地図あり)

定員

30名 参加無料

内容

第1回	地域で生活する外国人への日本語学習支援とは。 日本語はどんな言葉か。外国人はどのように日本語を学んでいるか。
第2回	外国語を使わない日本語の教え方。役に立つ教科書や教材。 外国人とのコミュニケーションのための「やさしい日本語」とは。
第3回	どのように日本語学習をサポートするか。日本語教室の役割。 日本語を教える体験もしてみよう!

講師

(一社)北海道日本語センター理事、札幌大学非常勤講師  
北海道大学、藤女子大学非常勤講師

大井 裕子  
富田 麻知子

参加申込

裏面の申込方法をご覧ください。



主催

北海道

企画・運営

一般社団法人北海道日本語センター(北海道の委託により、企画、実施)

<https://www.facebook.com/hokkaidonihongocenter/>

## 参加申し込み



<申し込み先>

(一社) 北海道日本語センター (担当: 阿部)

メールQRコード

メール : nihongoctr@gmail.com

ファックス: 011-664-0773

以下の項目をお書きの上、メールまたはファックスでお申し込みください。

① 名前 <small>ふりがな</small>	
② 住所	
③ 電話番号	
④ 所属 (任意記入)	

※3回全て出席できない場合でもご参加いただけますが、3回全てご参加の方には、修了証をお渡しします。

申込受付期間 10月1日～10月14日

<参加者の皆様へ>

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。
- ・各自昼食をご用意ください。
- ・ご不明の点がありましたら、下の電話番号までお願いします。

011-682-8934 (担当: 二通)



北海道

# 日本語学習支援者養成講座 in 留萌

道内には今、4万人以上の外国人が暮らしており、多くの人が仕事や生活のために日本語を必要としています。北海道では日本語学習の支援者を養成するために、下記の講座を行います。日本語教育の基礎的な知識や、日本語学習のサポートのしかたについて、初心者にもわかりやすくお話しします。みなさまのご参加をお待ちしています。



## 日時

2020年11月7日(土)、11月14日(土)、21日(土)

午前9時30分～午後4時30分(全3回)

## 会場

留萌商工会議所 大ホール (留萌市錦町1丁目1-15)

TEL. 0164-42-2058

## 定員

30名 参加無料

## 内容

第1回	地域で生活する外国人への日本語学習支援とは。 日本語はどんな言葉か。外国人はどのように日本語を学んでいるか。
第2回	外国語を使わない日本語の教え方。役に立つ教科書や教材。 外国人とのコミュニケーションのための「やさしい日本語」とは。
第3回	どのように日本語学習をサポートするか。日本語教室の役割。 日本語を教える体験もしてみよう!

## 講師

(一社) 北海道日本語センター代表理事、元東京大学日本語教育センター教授	二通 信子
(一社) 北海道日本語センター理事、北海道大学非常勤講師	阿部 仁美
北海道大学、北海道教育大学非常勤講師	式部 絢子

## 参加申込

裏面の申込方法をご覧ください。

## 主催

北海道



## 企画・運営

一般社団法人北海道日本語センター (北海道の委託により、企画、実施)

<https://www.facebook.com/hokkaidonihongocenter/>

## 参加申し込み



<申し込み先>

(一社) 北海道日本語センター (担当: 阿部)

メールQRコード

メール : nihongoctr@gmail.com

ファックス : 011-664-0773

以下の項目をお書きの上、メールまたはファックスでお申し込みください。

① 名前 <small>ふりがな</small>	
② 住所	
③ 電話番号	
④ 所属 (任意記入)	

※3回全て出席できない場合でもご参加いただけますが、3回全てご参加の方には、修了証をお渡しします。

申込受付期間 10月26日～11月3日

<参加者の皆様へ>

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。
- ・各自昼食をご用意ください。
- ・ご不明の点がありましたら、下の電話番号までお願いします。

011-682-8934 (担当: 二通)

### 資料3 最終アンケート参加者コメント

#### ① 講座に関する感想

##### <講座内容>

- ・とても興味深い内容でおもしろかったです。ありがとうございました。
- ・地域の外国の方がこの講義に参加することで、日本語を学ぶ場所を知ることができていました。私たちが日本語学習支援について学ぶだけでなく外国の方にもためになる講義だったと思います。
- ・一回目は文法で難しく、二回目来るか来ないか悩みましたが、二回目大変楽しく、三回目は楽しみにして来られました。ありがとうございました。十勝で活動している団体をご存知でしたら、ぜひ教えてください。日本語教師が国公認となって大学でとらなければいけなくなると聞いたのですが、制度が変わるのでしょうか。
- ・ゆっくりと、わかりやすい講義をしていただきました。わかりやすかったです。3日間、遠いところから来ていただき、ありがとうございました。
- ・日本語教育と日本語学習者支援の違いが明確になりました。支援について少し学ぶことができてよかったです。日本語教育（教え方）について少し学んでみたいです。楽しかったです。ありがとうございました。
- ・わかりやすい講座で、今後役に立てる機会があればよいと思います。  
「ガイジン」といういい方は、外国人にとって失礼にあたるかどうか。ありがとうございました。色々勉強になりました。
- ・すばらしい研修の機会に恵まれ、勉強になりました。どうもありがとうございました。  
勇気を出して申し込みしてよかったです。3日間ありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。
- ・対話しながらの講義でわかりやすかったです。
- ・講座ではグループレッスン等で色々な考え方を交換できて大変有意義でした。模造紙に書くなど久しぶりでした！
- ・グループでの話がとても楽しかったです。
- ・やさしい日本語を使って話すのにはまだ難しさがありますが、海外の方とコミュニケーションをとるのはとても楽しかったです。実際に海外の方と話すことができたのはとてもよい経験になりました。ありがとうございました。
- ・何がなんだかかわからないうちに3回の講座が終わってしまいました。次回あるとしたら、今回の講座がバネになると思います。楽しかったです。
- ・札幌より3回にわたり、充実の講座をしてくださり、本当にありがとうございました。釧路人の日本語支援への意識の高さを感じ希望を持ちました。
- ・実際に日本で生活している方とお話しすることはあまりないので、有意義な体験でした。ありがとうございました。
- ・留萌開催と聞いて、留萌中心にその関係者が参加されているのかと考えていましたが、多くの周辺市町はもちろん、滝川、旭川からの参加もあり、この講座の意義の大きさを感じました。3回目のみの

参加でしたが、大変実践的でした。ありがとうございました。

- ・ありがとうございました。引き続き協力をお願いします。
- ・3回実施していただきありがとうございました。今後ともよろしくをお願いします。

#### <開催場所、日程、広報の方法など>

- ・北見から参加させていただきました。もし北見市内で講座が開かれればうれしいです。
- ・滝川でもやってほしいと思いました。希望者もそれなりにいると思いますので、ぜひご一考いただけるとありがたいです。あと企業の方たちの意識改革の方法など、あれば教えていただきたいです。
- ・留萌管内中部地区で実施していただけると各地からの参加者が増えると思います。
- ・「やさしい日本語」をもっと多くの人へ。興味がある人以外にも届くように。日曜にまとめて…というのも大変。オンラインとかでもいいのでは？ネットワーク化できるような横のつながりを作れるしくみにしてほしい。
- ・シルバーウィーク前半の日程はきつかった。
- ・今回3回の講座だったため会社で一緒に参加した方が一回ずつしか来られない方もいて、残念でした。この3回の講座にも大きな役割があると思いますが、例えば、1回きり2-3時間の講座があれば、実習生に関わる方をたくさん連れて来たいと思いました。
- ・日本語学習の実践につながる内容でした。中身的に同じ内容で、とはおもしろいと思いますが、3週連続ではなく、一回の単発の講座でも出してみたいと思いました。
- ・日本語について学ぶ機会が得られる場があるとありがたいと思います。今回、北海道新聞の記事で知りましたが、多くの方が気付けるように講座の広報のあり方を検討していただきたいです。技能実習生の方が気持ちよく生活を送ることができるよう地域交流に向けた施策を考えてほしい。

## ② 今後の事業への要望

### <今回の講座の継続>

- ・また実施することがあれば参加したい。
- ・今回と同じ内容でもかまいませんのでお願いします。
- ・次回も講座受講したいと思います。
- ・将来的に必要な事業ですので、今回だけではなく継続していただくことを希望します。今回の三日間も充実していましたが、十分な学習時間ではないと感じます。
- ・次回もこのような講座をできれば釧路市で開催してほしいです。外国人をまじえて実践的にやさしい日本語を使ってお話できる機会がまたあるとよいと思う。
- ・次回も釧路でこのような機会があれば参加したいです。
- ・来年度も釧路会場での講座を実施してもらいたい。
- ・次回も今回と同様に行っていただけるとうれしいです。
- ・次年度も同様の講座が行われることを希望します。講座を利用して公的な資格が取得できるとよいですね。
- ・日本語サポーターは、今後ニーズが高まると予想されるので、今回のように釧路で次回も実施して

いただきたいです。楽しくわかりやすい3日間の講座内容でした。

- ・ 稚内は日本語教室がないので、また、このような講座を開いていただけたらうれしいです。また、学習して、今日のように海外に研修生の方と少しでも話せたらいいと思います。今まで知らなかったことを学ぶことができ、有意義でした。このような機会があると、稚内でも学ぼうという人が増えると思うので。
- ・ 来年もぜひやってほしいです。もう少しレベルを上げた講座を希望します。
- ・ 次回も同様の機会があればよい。
- ・ 大変貴重な体験をさせていただきました。北海道は広く、札幌に出向くことも大変なので同等地域でこのような機会を開いていただけたらと思います。

#### <学習支援の内容や方法に関する講座>

- ・ 学習者がどのように日本語を学んでいるかをもっと知りたい。
- ・ 外国人ゲストとのおしゃべり体験を一步進めて模擬授業を体験してみたい。
- ・ 「やさしい日本語」への言い換えがむずかしく、より多くの時間を取ってもらったら理解が進むと思います。
- ・ 日本語初級レベルの方に日本語だけで文法を教える様子を見てみたい。
- ・ 実際にどのように教えているのか教室参観などがあると実践につながると思いました。
- ・ 日本語教師のなり方、日本語教師の資格取得後の働き方（海外、国内、日本人学校など）を詳しく知りたいです。
- ・ これから社会のお役に立てることは何かないかと考えていた時でしたので、大変役立って、楽しく参加いたしました。次回はもっと外国の方と会話の進め方の研修の時間を多くもてたらうれしいと思います。よりよい実践法を学びたいです。
- ・ 内容が体系的でよく練られた講座でした。講座を発展する形でどのような教え方をすれば効果的なのか学べるような講座があるといいなと思いました。
- ・ サバイバルカードヒンディー語版おねがいします。初めての日本語教室開催のために初歩的なドリルを提供願いたい。
- ・ 各地域の日本語教室の開催内容など。
- ・ レベルアップのために「やさしい日本語を学ぶ講座」を開いてほしい。最初は3日間できると思いましたが、終わってしまえば短い3日間でした。充実した3日間でした。ありがとうございました。
- ・ 実際に開催されている教室を体験し、具体的な授業内容を学ぶ場や、今日のように交流をしながら（移住者と）ニーズを探るような講座があるとありがたいです。
- ・ 技能実習生への日本語の教え方や方法が知りたい。仕事に関する日本語も教えなければならないので知りたいです。

#### <外国人との交流や対話の機会>

- ・ 地域にいるとなかなか外国人とふれあう機会がありません（結構、多くの外国人を目にするのですが…）ですので、今回外国の方と少ない時間ですが、お話できてよかったです。もっと交流したいです。

- ・今回のような外国人と交流をする授業をもっと増やして欲しいと思います。
- ・外国人との対話を増やして欲しい。
- ・外国人の方ともっと話をする機会を設けてほしい。
- ・やさしい日本語を学んだり、外国人、外国の文化との交流などに参加したいです。
- ・コロナの影響もあり多文化理解や交流などの機会が減っていると思うので、このように日本にいつ外国の方との交流のきっかけになるような活動はもっと必要になると思います。札幌だけではなく地方で学ぶ機会がもっと増えてほしいです。

### ③ 講座後の自身の活動

- ・将来自分の教会などを会場にして、初級の「日本語教室」を開きたいと思っている。どなたかインストラクター（教師）としてボランティアで協力して下さるとうれしい。このような集中講座が年に一回でもあるとうれしい。
- ・今すぐではありませんが、地域のニーズを見ながら外国人との共生、日本語支援に取り組んでいきたいと思っています（まずは個人的に）。その場合、関連する情報やネットワークは大切だと思いますのでこの機会を活かさせていただきたいと思います。今後もよろしくお願いします。
- ・すごく楽しかったです。いつか教えられることができればと思っておりますが、これからも国際交流に関わっていきたくて、モチベーション高まりました。ありがとうございます。
- ・教え方について色々な講座に顔を出して色々な話を聞きたい。日本語教師の資格を取得したいと強く思った。何か情報があればほしいくらいです。これからもよろしくお願いします。
- ・教えるというより、話し相手になればと思います。
- ・ホームページでやさしい日本語でアップできるようがんばります。
- ・教室は難しいかも知れないが、イベントならできるかな？
- ・日本語の指導資格を取得するのに札幌に行かなければなりません。釧路で資格取得することができればチャレンジしたいです。
- ・稚内市（行政側）からの要請があれば、支援の立場に立ちやすいです。自分から行動を起こすのはハードルが高すぎると思います。
- ・この講座はほんとうにとっかかりで、これからいろいろ学ぶことが始まるのだということがわかった。外国人に対する先入観は少し減ったと思う。町で会ったら、気軽に声掛けしてみようと思う。
- ・貴重な経験となりました。ありがとうございました。日本語教育能力検定試験の合格を目指してがんばる勇気がわいてきました。

### ④ その他

- ・在住外国人向けの日本語学習、集中講座のようなプログラムを企画立案していただければ幸いです。
- ・外国人技能実習生の方々は、3年ぐらいの周期で他の土地へ移ってしまう方も多いと思いますが、教え方にも影響しますか？その町の滞在期間を考えたカリキュラムを組むことはありますか？
- ・日本人は他の国の言葉を、日本語で学びたい人は日本語を、互いに学びあうことはできないのか。